

(1)



ボランティア通信 2017.4 Vol.204

な か ま

発行 交野市ボランティアグループ連絡会
(交野市ボランティアセンター内)

V.連絡会 E-mail vltr94@leto.eonet.ne.jp
V.センター E-mail katabora@nike.eonet.ne.jp

ボランティアを
紹介してほしい人
ボランティア活動を
はじめたい人
ボランティアセンター
にお問い合わせください
(☎894-3737)

| グループ名 | リーダー | サブリーダー |
|-----------------------------|---------|-----------------|
| 在宅訪問 「陽だまり」 | 富田 佐代子 | 馬場 巡 |
| 外出介助 「かざぐるま」 | 栗原 清美子 | 黒田 直美 |
| 子育て広場 「アリス」 | 沖田 麻知子 | 和久田 純子 |
| 手話 「さつき」 | 辰本 真理子 | 原 雅恵 |
| 要約筆記 「星の会」 | 森地 佳子 | 坂口 和代 |
| 点訳 「虹の会」 | 笹岡 武子 | 西村 佐世子 前田 順子 |
| 朗読グループ 「あい」 | 4月5日に決定 | 4月5日に決定 |
| 障がい者との交流「ほほえみ」 | 山戸 久子 | 藤井 邦子 三木 恵美子 |
| 障がい者・施設支援「ふれんズ」 | 山本 むつ美 | 佃 静枝 |
| 介護衣料手作り 「糸ぐるま」 | 林 志都江 | 小西 敦子 間瀬 よし江 |
| いきいき歌体操 「HAND」 | 奥田 孝子 | 平松 幸男 |
| 車いすダンス 「ひまわり」 | 佐藤 建造 | 西崎 二三江 大木 孝子 |
| ニュースポーツ/演芸/ おもちゃ作り 「玉手箱」 | 岡崎 佳世子 | 作本 儀蔵 |
| 花と緑の会「いぶき」 | 松井 艶子 | 仲西 公子 |

平成29年度各グループ

リーダー・サブリーダー

3月28日のリーダー会議で、次年度の各グループのリーダー・サブリーダーが左表の通り承認されました。また、11

年間とも「KIC」が、引き続き活動希望あり。また、11月11日のリーダー会議で、次年度の各グループのリーダー・サブリーダーが左表の通り承認されました。

ボランティアセンター・コーディネーター

「てんま」から「てんぼ」へ戻ります

育児休暇中だったボランティアセンター職員・天場が、4月10日(月)より復帰します！ 代理のおっちょこちょいなコーディネーター天満が、大変お世話になり、本当にありがとうございました。

これからも皆様のボランティア活動が、無理なく楽しいものでありますよう、祈っております。
天満 享子



年度末親睦会で交流

手話「さつき」

ボランティアグループ 近況あれこれ

3月24日(金)に、年度末親睦会を行いました。一部は、一年間の活動報告や次年度の役員の紹介をして、二部はおいしいお弁当を食べながら、おしゃべりを楽しみ、ゲームをして盛り上がり、親睦を深めました。これからも、楽しい「さつき」になるように、活動していきたいと思っています。



天の川緑地公園でスカイクロスを楽しんでいます

スカイクロス&おもちゃづくり ～玉手箱～



毎月第2土曜日、9時30分から11時30分まで天の川緑地公園でスカイクロス(上の写真)を楽しんでいます。気軽に参加できます。3月12日(日)は、「環境フェスタ・星の里いわふね」でおもちゃづくりに参加しました。子どもたちにも「とことこ亀さん」「どんぐり下り」「竹の体操人形」「ダブル風車」などを準備、子どもたちとの会話を楽しめながら時の経つのを忘れるほどでした。

メンバーの怪我や病気、介護などで、これまで通りの活動が続けるのが難しく、4月から訪問先を減らすという苦渋の決断を余儀なくされました。

そんな中で今回が最後となる郡津地区のサロンで「18年間の長きにわたりお世話になりました」と感謝状を頂き、思いがけない出来事に思わず涙がポロリ…。これからも「寝たきりにしない、させない、つぐらない」のHANDのモットーを大切に頑張っていきます。

HANDに入会くださる方をお待ちしています!!

歌体操「HAND」

これからもよろしく



(3)

大阪府市町村ボランティア連絡会代表者会議 & 研修交流会 障がい者との交流「ほほえみ」の活動を発表

研修交流会活動発表

- ① 子ども防災キャンプ in たじり
田尻町ボランティア連絡会
- ② Smile の活動 「楽しむ・伝える・繋がる」
阪南市ボランティアグループ Smile
- ③ 障がいのある方と交流して
交野市ボランティアグループ連絡会
障がい者との交流「ほほえみ」
- ④ 奈良県ボランティア連絡協議会 & 大和高田市ボランティア連絡協議会の取り組み



障がい者に寄り添う

誰もが等しく幸せに生きるために

3月8日(水)、大阪府市町村ボランティア連絡会で代表者会議に引き続き開催された研修交流会では4団体(別掲)が活動発表を行いました。交野市ボランティアグループ連絡会からは障がい者との交流「ほほえみ」の活動について栗原清美子さん(写真)が発表しました。

活動の始まりは、義務教育を終えた在宅の障がい者との交流の場として立ち上がったグループ「成人学級」(ほほえみの前身)で地域の集会所の部屋を週に一日借りて、様々な障害を持つている人たちとの出会いと、その対応について手探りで始めた頃の活動を熱く語られました。

また現在5人の障が



研修交流会(大阪市・堺市・奈良県からも参加)に120人が集い交流をしました

い者が「ほほえみ」に来ておられますが、利用者にもボランティアにも楽しい居場所であって欲しいという気持ちで接していきいます。生きていく生活で、生活が壊れるかも知れませんが、どんな状態になっても地域のなかで支え合っている社会を願って活動をしていきます。障害のあるなしに関わらず、誰もが等しく幸せに生きてゆく権利があることを認識して欲しいと結びました。

次年度役員候補市

| | | |
|----|--------------|---------------|
| 北摂 | 吹田市 (会長) | 茨木市 (副会長) |
| 河北 | 大東市 (副会長) | 四條畷市 (会計) |
| 河南 | 河南町 (副会長) | 羽曳野市 (監査役) |
| 泉州 | 和泉市 (副会長) | 高石市 (監査役) |

研修交流会に先だって開かれた代表者会議では、平成28年度事業及び会計の中間報告、次年度役員改選、ブロック交流会について討議。次年度役員改選については現行12名の役員数を8名に減じる方向性が出され、討議の結果、賛成多数で可決されました。この結果を受けて次年度は各ブロック5月の総会で承認を得ることになりました。

代表者会議 役員4名減を可決 5月の総会で承認へ

四月からボランティアセンター フリースペースの利用を緩和

四月からフリースペースの利用の幅が広がります。

ボランティアセンター2階のフリースペースを、ボランティア活動を市民の皆様へ、より広くご利用いただけるように利用条件を変更します。
変更点は、①利用できる方、②利用方法、③利用目的の3点です。下表の右側は現在の利用内容です。左側は変更後の利用内容です。

| | | |
|--------|--------------------------|---------------------------|
| 利用できる方 | センター登録者1名以上を含む、ボランティア活動者 | センター登録者(個人・団体)のみ |
| 利用方法 | 設置されている利用表に記入の上、利用後に提出 | 利用時に、フリースペース壁面に設置した利用表へ記載 |
| 利用目的 | ボランティア活動または、活動にともなう利用 | ボランティア活動にともなう利用 |

4月のボランティアサロン

本や情報紙などを点字に訳する点訳体験。

はじめは、同じように初心者だったボランティアさんから学ぶ、やさしい点訳の体験です。

読みたい小説、勉強の参考書、広報などのお知らせ、カレンダー...など、点訳された文字を必要としている方が、いらっしやいます。

- と き 平成29年4月14日(金) 13時~15時
- ところ 交野市ボランティアセンター1階活動室
- 対象 交野市と周辺在住、在勤、在学の方
- 定員 20名
- 参加費 無料
- 申込み ボランティアセンターまで

リーダー会議

(3月28日)

☆平成29年度各グループリーダー・サブリーダーの報告承認(1頁参照)

☆三大行事の進め方

・各実行委員会の役割と構成について

・三大行事の開催日と担当

市民交流フェスタ7月29日(土)、(さつき・星の会・

あい・ふれんズ・玉手箱)

ふれあい広場11月12日(日)、(かざぐるま・アリ

ス・陽だまり・ほほえみ・いぶき)ボランティア交流会

会1月27日(土)(虹の会・糸ぐるま・HAND・ひまわり)

☆センターより

・活動記録の提出について

・登録グループ一覧表の確認(人数は3月末に確定)

・ボランティアセンターの部屋利用申請書及びフリースペースの利用について

・ボランティア体験プログラムについて

☆各グループから(省略)



近頃の子供たちの名前には本名に難しい。キラキラネームと言われるらしい。親の思いが込められた文字が並んでいて、聞いてみないと読み方がわからない名前が多い。名前を聞いて「愛子です」なんて聞くとほっとする。しかし名前も時代と共に変わっていく。今どき「つる」や「かめ」なんて名前の子はいない。百年前なら不思議でなかったのではと思われる。こんなことを思うのは自分も歳を取ったのでしよう。色々思いがあるのでしょうか。名前は一生涯ついてきます。いちいち説明しなくても分かる名前がないと分かります。こういう私も、「何と読むのですか」とよく聞かれる名前です。